

2021年6月6日 NO.56-23

《開会 午前10時30分》		—礼拝式順序—	
※は一同ご起立下さい。		司式	吉田謙牧師
		奏楽	K兄弟
前 奏			
礼拝への招き	申命記 8 章 3 節		
挨拶			
※賛 美	詩編歌 2 4 (1)		
祈 禱			
罪の告白			
静 思			
赦しの宣言			
平和のしるし			—神の招き—
照明の祈り			
聖書朗読	ヨハネによる福音書 6 章 2 2 節～3 5 節 (新約 1 7 5 頁)		
説 教	「わたしは命のパンである」		
祈 禱	吉田謙牧師		
静 思			—神の言葉—
※賛 美	5 0 2 (1)		
※信仰告白	ウエストミンスター小教理問答 問 8 6 (週報裏面)		
※使徒信条			
献 金	K姉妹・Y姉妹・K姉妹		
執り成し		吉田謙牧師	
主の祈り	(週報裏面)		—感謝の応答—
※頌 栄	5 4 4		
※祝福と派遣	吉田謙牧師		
※後 奏			
報 告	礼拝当番	I 執事・G姉妹	—派 遣—

※体調のすぐれない方は座席についたままで礼拝にご参加ください。

《罪の告白と赦し》

罪の告白への招き

司式 罪人である私たちを、神様はなお憐れみをもって招いておられます。
ですから、今、私たちは、神様の御前に入るにあたって、
自らの罪を、へりくだりと信仰をもって、神様に正直に告白いたしましょう。

罪の告白

司式 一同で罪の告白をいたします。皆様は心の中で告白してください。

一同 憐れみ深い父なる神よ。私たちは告白します。
私たちの罪は、自分一人で負うには重すぎます。
あまりにも確かで、隠すことができません。
あまりにも複雑で、ときほぐすことができません。
あまりにも深くて、はかることができません。
くちびるが震え、言葉にするのを恐れます。
私たちにふさわしいのは、永遠の火による裁きです。
変えることのできない過去の罪から解放してください。
変えることのできる未来の可能性を開いてください。
日々、キリストに似る者となるように、恵みを増し加えてください。
世の光であるイエス・キリストによって祈り願います
アーメン。

司式 しばらく目を閉じて、悔い改めと赦しの願いに心を集めましょう。
静思の時間をもちます。(40秒)

赦しの宣言

司式 神の恵みによって宣言します。
主イエス・キリストの十字架を信じるあなたがたは、
罪を犯すことがあっても新しい人です。
罪を犯すことがあっても神の子です。
神は砕かれた魂を何よりも喜んでくださいます。(詩編51:19)
主イエス・キリストは罪を犯した女に言われました。
「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。
これからは、もう罪を犯してはならない。」(ヨハネ8:11)

一同 アーメン。

平和のしるし

司式 神がキリストにあって私たちを赦してくださいました。
私たちも互いに赦しあいましょう。
主イエス・キリストの平和があなたがたと共にありますように。

一同 アーメン。

今日の集会

- ◇教会学校(オンライン併用) 9:30~10:15
 〈司会〉 G先生
 〈お話〉 U先生
- ◇成人学級 10:00~10:20
- ◇奉仕前祈祷会 10:20~
- ◇教会学校教師会 礼拝後
- ◇小会 13:00~
- * 聖餐式は中止です。

《前週統計》

祈祷会・求道者会・教会学校はネット併用で開催

2021/5/30		男性	女性	男児	女児	合計	
集	礼拝	6	11	1	2	20	
	祈祷会	1	2	0	0	3	
	求道者会	1(4)	0(6)	0	0	1(10)	
	オリキッズ	—	—	—	—	—	
会	礼拝の恵み	—	—	—	—	—	
	教	成人科	6	7	—	—	13
		幼稚科	2(2)	2(2)	0(0)	2(0)	2(0)
		小学生	—	—	1(1)	0(0)	1(1)
統	中高生	—	—	1(0)	0(0)	1(0)	
	計	献金	礼拝		20,500		
		教会学校			1,000		

今週の集会

- ◇祈祷会 6月 9日(水) 午前10時30分~ オンライン併用 詩編の学び
- ◇相談日 6月 9日(水) 午後2時~5時 牧師相談日
- ◇求道者会 6月10日(木) 午前10時30分~ オンライン併用 (家庭集会と合流)

次週の集会 (6/13)

- ◇教会学校 〈司会〉 A神学生
 (ネット) 〈お話〉 Y先生
- ◇成人学級 〈担当〉 吉田謙牧師 午前10時~10時20分
- ◇礼拝 〈説教〉 吉田謙牧師「わたしは決して追い出さない」
 〈聖書〉 ヨハネによる福音書6章34節~40節
 〈旧約聖書〉 簡易礼拝のため省略
 〈新約聖書〉 簡易礼拝のため省略
 〈讚美歌〉 詩編歌24・271B・544
 〈司式〉 吉田謙牧師 〈奏楽〉 K姉妹
 〈献金〉 Y姉妹・K姉妹・K姉妹
 〈礼拝当番〉 I執事・G姉妹
- ◇執事会 午後12時30分~

お知らせ

- ◇緊急事態宣言が延長されたため基礎疾患のある方や公共交通機関を利用して来られる方は、命を守るために極力自宅で礼拝を捧げるようにして下さい。また礼拝に出席する際には必ずマスクを着用し、一階でアルコール消毒をして下さい。また密集を避けるため基本的には一つの机に二人ずつ座るようにして下さい(家族は例外)。
- ◇祈祷会・求道者会・教会学校は、オンラインを併用しながらおこないます。その他の諸集会は、当面、休会といたします。
- ◇婦人会委員会より連絡です。「阪神地区東部連合婦人会委員会開催予定。7月2日(金)千里摂理教会にて。秋の修養会は調整中。」
- ◇西部中会諸教会の年報を学習室に置いてあります。どうぞご覧下さい。
- ◇ラジオ伝道番組「キリストへの時間」(ラジオ関西 558KHz 日曜日午前7時30分~45分)を聞きましょう。6月13日放送予定:宇野元先生(芦屋伝道所)「命の歩み」
- ◇掲示板
 - * 神戸改革派神学校より夏期信徒講座の案内が届いています(オンライン同時配信)。
 日時:7月3日(土)午前10時30分~午後3時40分 会場:神戸改革派神学校 チャペル
 講師:吉岡契典先生(板宿教会 主題:「コロナ禍で考える教会論入門」
 講義Ⅰ「教会の変わらない土台」 講義Ⅱ「 ” 目的」 講義Ⅲ「 ” 働き」

6月の祈禱課題

- ①教会の今年度後半の歩みのために。 ②中会や大会の歩みのために。 ③神学校のために。
④加入されたご夫妻のために。 ⑤昨年加入された方々、受洗された方々を覚えて。
⑥新型コロナウイルス感染症予防のために。 ⑦遠ざかっている方々を覚えて。
⑧闘病中の方々を覚えて。 ⑨求道者の方々を覚えて。 ⑩川島利子姉妹のために。
⑪年間教会標語「教会に生きる喜び」
⑫豪雨災害、大阪北部地震、北海道地震、熊本地震、東日本大震災の復興のために。
⑬滋賀摂理教会・千里山教会・園田教会・神戸長田教会・恵泉教会・板宿教会・南与力町教会のために。
⑭6月生まれの方のために。

今月の掃除当番

A 姉妹・K 姉妹

【本日の聖書日課のテーマ】「悔い改めの使信」

旧約聖書 エゼキエル書 1 8章 2 5節～3 2節：すべての背きから立ち返れ
新約聖書 使徒言行録 1 7章 2 2節～3 4節：アレオパゴスの説教

プラトンがアテネにアカデメイアを創設したのは、パウロがこの町を訪れる400年も前のことであり、エピクロスやストア派が活躍したのは300年前のことでした。アテネは深遠なる思想的伝統をもった、まさにアカデミックな町であり、人々は広い教養と豊かな知識をもっていたのです。しかしその一方で、多くのアテネの人々は素朴な自然宗教的感情を抱いていたようです。

そのような町でパウロは語りました。それを聞いたある人々は、最後には嘲笑い、「それについては、いずれまた聞かせてもらうことにしよう」と言ってパウロのもとを去っていきました。その姿は、現代の日本社会でキリストを語り続ける私たちの教会の姿と重なって見えます。この国においても、科学信仰と無自覚的な信心が共存し、多くの宗教的タブーが生きています。多くの神々が生きています。そのような中で語ることは決してたやすいことではありません。

「誰がこんな話を聞かだろ」－私たちは最初からそのように決めつけているかもしれません。「それについてはまたいずれ……」という反応しか返ってこないだろうと。しかし、そのアテネの会衆の中にも、最後まで立ち去らない人々がいたのです。

このテキストには、さまざまな思想、宗教が存在するこの世界の中でキリスト者がどのように生きるべきかを示唆する内容が含まれているように思われます。

私たちがパウロから学ぶべきことの一つは、対話を続けることです。パウロは会堂、広場、アレオパゴスという公共の議論の場で語りました。その際にパウロは自分と違う歴史、思想を持った人々を尊重しながら語っているのです。

キリスト者の独善は決して対話への道を開くものではありません。しかしパウロは妥協するわけではないのです。語るべきことを最後まで語り続けています。私たちもまた宣教の困難の中であって、自らの信じるところについて、嘲笑されながらも愚直に語り続けたパウロの姿を思い起こすべきではないでしょうか。

「すべての人に命と息と、その他すべてのものを与えてくださるのは、この神だからです」(使徒17:25)とパウロは語ります。この世界が神によって創造されたものである以上、すべての宗教的な営みもまた神の御手の中にあるのです。この世界のすべての人々は神の愛のもとにあります。そのことを信じる限り、どんな人々とも前向きに対話を続けていくことができるのではないのでしょうか。

ウエストミンスター小教理問答

- 問86 イエス・キリストへの信仰とは何であるか。
答 イエス・キリストへの信仰とは、救いの恵みであって、それによって私たちが、救いのために、福音において提供されているままに、ただキリストを受け入れ、そしてより頼むのである。

使徒信条

われ、天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、
全能の父なる神の右に座したまえり、
かしこより来りて生ける者と死ねる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。アーメン。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らを、こころみにあわせず、悪より救い出したまえ。
国と力と栄えとは、
限りなく、なんじのものなればなり。アーメン。